



県鷲・土木工業会長

鈴木 洋治 氏



業界の経営安定に尽力

「県内には現在11支部が存在しているが、会員数は減少傾向にある。減少に歯止めをかけ、会員数の増加に努めたい。そのためには組合に入って良かったと思ってもらえるような運営をしていかなければならない」と真新しい半纏を身にまとい抱負を語る鈴木洋治氏（株鈴木組代表取締役）。本年度の総会で県鷲・土木工業会の新会長に就任した。

業界の課題を尋ねるとまず各社

講習会で若手技術者育成を

の経営安定化を挙げた。「高齢化による若手技術者の確保も大きな課題だが、それも経営が安定しなければ解決は難しい。まず地元の仕事を地元の業者が行うべきということを発注者に粘り強く訴えていきたい」と意気込んだ。

業界の課題である社会保険加入

についても「必要性は十分理解しているが、われわれ専門工事業の苦しい状況も訴えていかなければならない。実現までの道のりは長い。足場工事の分離発注導入など、われわれが適正な利益を得られるような要望を行ってまいりたい。課題は山積しているが、業界の発展に力を尽くしたい」と決意を示す。

また国家資格である一級技能士について「まだ十分に評価されていないと感じる。重要性をアピールしていきたい」と話す。

そのほか各種講習会の充実にも意欲。「鷲職は作業手順を一つ間違えれば大きな事故につながる。後進への指導もわれわれの重要な役割。日々導入される新しい技術について学ぶ講習会も行いたい」と会員の技術力向上へも力を注ぐ。



1954年4月26日生まれ、64歳。笠間市出身。水戸第二高等学校卒業後、鷲鈴木組（当時）に入社。92年に代表に就任した。趣味は音楽で学生時代にはフォークソングクラブを立ち上げた。尺八の演奏に挑戦したこともある。そのほかゴルフや盆栽にチャレンジした経験も。好きな言葉は「努力」と「誠実」。「真面目に仕事に取り組んできたこと、人より早く仕事を覚えようと勉強してきたことが今につながっている」